

# **J-SAILING**

**JAPAN SAILING FEDERATION**



**NO.103**

[www.jsaf.or.jp](http://www.jsaf.or.jp)



楽しさ広がる！  
ナビスコリッツ



ヤマザキナビスコ



スポーツ祭東京 2013 「とどけようスポーツの力を東北へ！」

東日本大震災復興支援 第 68 回国民体育大会セーリング競技会  
9月29日～10月2日（東京都・若洲海浜公園ヨット訓練所）



成年女子セーリングスピリッツ級のスタート

# 千葉県が天皇杯を獲得！

東京国体セーリング競技が2020年に開催する東京オリンピックと同じ海面の若洲海浜公園のヨット訓練所で開催された。監督・選手565名、参加艇数347艇が全国から集まった。陸上施設に選手とヨットがあふれ、レース海面へ行くにも荒川河口の航路を横断せねばならないなど厳しい状況にあったにもかかわらず、スムーズな大会が開催された。

レポート／森 信和（JSAF 国体委員会副委員長） 写真／濱谷幸江



全都道府県が参加した成年男子国体シングルハンダー級。背後に新名所、東京ゲートブリッジが見える



和歌山 宮川・栗栖

成年女子  
セーリング  
スピリッツ級

- |       |          |
|-------|----------|
| 1 和歌山 | 宮川・栗栖    |
| 2 千葉  | 持田・高橋    |
| 3 大阪  | 河合・山下    |
| 4 山口  | 内富・高橋    |
| 5 大分  | 後藤(季)・安部 |
| 6 愛知  | 藤井・加藤    |
| 7 岐阜  | 渡邊・松永    |
| 8 鳥取  | 平岡・西尾    |



東京 飯束・八山

成年男子  
470級

- |       |       |
|-------|-------|
| 1 東京  | 飯束・八山 |
| 2 福岡  | 土居・磯崎 |
| 3 愛知  | 高橋・杉浦 |
| 4 千葉  | 野呂・渡邊 |
| 5 長崎  | 田口・原田 |
| 6 愛媛  | 今村・大嶋 |
| 7 和歌山 | 市野・大矢 |
| 8 鹿児島 | 今村・高瀬 |



東京 富部 柚三子

成年女子  
シーホッパー級  
スモールリグ

- |       |        |
|-------|--------|
| 1 東京  | 富部 柚三子 |
| 2 石川  | 谷内 志緒里 |
| 3 北海道 | 松苗 幸希  |
| 4 三重  | 河原 由佳  |
| 5 佐賀  | 中山 由佳  |
| 6 広島  | 濱田 華帆  |
| 7 神奈川 | 樋口 美紗  |
| 8 京都  | 安田 千秋  |



佐賀 南里 研二

成年男子  
国体シングル  
ハンダー級

- |       |        |
|-------|--------|
| 1 佐賀  | 南里 研二  |
| 2 京都  | 安田 真之助 |
| 3 和歌山 | 谷口 斉謙  |
| 4 愛知  | 永井 久規  |
| 5 山梨  | 高村 幹治  |
| 6 広島  | 前田 博志  |
| 7 秋田  | 斎藤大輔   |
| 8 鳥取  | 八木谷 充  |



新潟 小菅 寧子

成年女子  
国体ウインド  
サーフィン級

- |       |        |
|-------|--------|
| 1 新潟  | 小菅 寧子  |
| 2 滋賀  | 伊勢田 愛  |
| 3 東京  | 須長 由季  |
| 4 和歌山 | 小島 真理子 |
| 5 神奈川 | 堀川 智江  |
| 6 鹿児島 | 須賀 愛実  |
| 7 埼玉  | 鎌石 恵子  |
| 8 千葉  | 三石 真衣  |



新潟 富澤 慎

成年男子  
国体ウインド  
サーフィン級

- |       |       |
|-------|-------|
| 1 新潟  | 富澤 慎  |
| 2 大分  | 黒石 勇次 |
| 3 東京  | 倉持 大也 |
| 4 和歌山 | 尾川 潤  |
| 5 京都  | 内園 拓也 |
| 6 静岡  | 市川 和典 |
| 7 熊本  | 河野 宏和 |
| 8 神奈川 | 山崎 大輔 |



佐賀 中山・池内

少年女子  
セーリング  
スピリッツ級

- |       |       |
|-------|-------|
| 1 佐賀  | 中山・池内 |
| 2 千葉  | 北林・宮野 |
| 3 東京  | 林・大島  |
| 4 長崎  | 元津・濱本 |
| 5 神奈川 | 深沢・馬渡 |
| 6 兵庫  | 山田・大龍 |
| 7 山口  | 藤井・内富 |
| 8 岐阜  | 伊藤・末谷 |



山口 小泉・有岡

少年男子  
セーリング  
スピリッツ級

- |      |       |
|------|-------|
| 1 山口 | 小泉・有岡 |
| 2 佐賀 | 岡田・宮口 |
| 3 大分 | 永松・林  |
| 4 千葉 | 今井・田中 |
| 5 静岡 | 杉山・中山 |
| 6 兵庫 | 奥村・藤井 |
| 7 茨城 | 沼崎・木村 |
| 8 岐阜 | 近藤・伊藤 |



兵庫 鄭 愛梨

少年女子  
シーホッパー級  
スモールリグ

- |       |        |
|-------|--------|
| 1 兵庫  | 鄭 愛梨   |
| 2 佐賀  | 多田 緑   |
| 3 神奈川 | 遠藤 紅葉  |
| 4 東京  | 安藤 夏海  |
| 5 山口  | 仲山 千尋  |
| 6 大分  | 赤嶺 華歩  |
| 7 千葉  | 宮田 月乃  |
| 8 長崎  | 板見 佳奈恵 |



佐賀 樋口 碧

少年男子  
シーホッパー級  
スモールリグ

- |       |        |
|-------|--------|
| 1 佐賀  | 樋口 碧   |
| 2 静岡  | 北村 勇一郎 |
| 3 和歌山 | 西尾 勇輝  |
| 4 鹿児島 | 中島 亮   |
| 5 広島  | 榎原 豪   |
| 6 愛媛  | 青野 鷹哉  |
| 7 千葉  | 植木 武成  |
| 8 長崎  | 矢野 航志  |

東京オリンピック開催のプレゼンターションで「おもてなし」の言葉が世界中に発信され、開始式では地元伝統芸能「砂村囃子(すなむらばやし)」の演奏と獅子舞が行われ、全国の都道府県選手団からは大きな拍手が起こった。

27日(金)から計測が始まり、28日(土)の午後からは4mの風の中、トライアルレースが実施された。

今大会は都道府県の支援艇は使用できず、陸上からレース状況も視認できないため、ユーストリームによる映像のネット配信を行った。同時に陸上にいる監督や観覧者のために会場内にモニターが何カ所も設置され、好評だった。

### 29日(日)

晴れ、北の風3m

成年男子470級第1レースでは三重県佐藤三郎選手、山口県中村公俊選手、神奈川県一人選手のメダリストや元オリンピック選手が参加し、風が弱い状況ではあるが第1マークまではまさに往年の名選手による腕前が発揮され、エキサイティングで白熱したレースが繰り広げられた。

この日は20レースを予定していたが、昼頃には風が落ちて午後は陸上待機となり、3時ごろから南東の風3mが入り、午後5時までに16レースが実施できた。

全都道府県が参加した成年男子団体シングルハンター級では3mの風の中スタートしたが、途中中風が落ち47艇中6艇のみフィニッシュし、41艇はDNFとなるサバイバルなレース展開となった。

今大会もチャイルドルームがクラブハウス2階に設置され、29日の日曜日には52名の利用があった。選手や見学者には好評で、他の競技団体からも視察に訪れていた。

今後も女子選手が競技を継続するためにチャイルドルームは必要不可欠な施設で、各競技団体も東京オリンピックへ向けて注目されることと思われる。

また、環境にやさしい取り組みとして、古いセイルをリサイクルしてエコバッグを作る試みをJSAF環境委員会が初めて国体会場で行い、54名の参加があり、好評だった。

地元の大嶽部屋の力士による「おもてなし」があり、ちゃんこ鍋が選手や監督、関係者に振舞われ、長蛇の列ができた。

### 30日(月)

晴れのち曇り、北東の風4~6m

前日実施されていないレースも含めこの日は各海面12レースが予定された。風は安定して吹き、予定どおり24レースが行われ、各種目すべて4レースを実施することができた。

1日に1海面で12レースを実施することはレースコミッテーターにとつて大変な重労働だったと思われる。選手は次々に交代してレースを行うが、海上役員は同じ作業を12回しなければならず、東京都ヨット連盟を中心としたレースコミッテーターに頭が下がる。各海面の発着水路部役員による素晴らしいレース運営で選手を満足させることができたと思われる。

この日、台風22号が日本近海に発生した。大会前にも台風20号が接近したため江東区実行委員会では会場内の仮設テントの縮小など素早い対応をしていたいたが、台風22号は最終日の2日には影響が大きくなることが想定されたため、レース実施について競技委員会、レース委員会と実施本部と協議を行なった。その結果、日程どおり実施することとした。

### 10月1日(火)

曇り時々雨、北の風3~7m

今大会は各種目5レース以上成立すれば最も悪いレースを除外できる。そのため、海上役員も張り切って、選手のためにと5レース実施に向け運営が行われた。

また、この日のレース結果でおおむねの成績が決まり、最終日は台風22号の影響も心配されたため、各都道府県選手団はいっそう気合いが入っていた。

結果として、予定された各海面8レース合計16レースが時間どおり終了し、レース運営のレベルの高さを感じさせる海上運営であった。

### 10月2日(水)

雨、北の風10m

台風22号の影響が朝から表われ、とくに雨による視界不良のため10時20分に残りの4レースが中止された。60レース中56レースが成立し、各種目が終了した。

### 最後に

男女総合成績の天皇杯、そして皇后杯を獲得した千葉県選手団を賞賛すると

もに、各選手団のご協力に感謝を申し上げます。

今大会は全体的に狭い場所であったがコンパクトにまとめられ、「おもてなし」や大会を楽しむ気配りがいくつも配慮され、国体のあるべき姿が表現された素晴らしい大会だった。

大会開催にあたりスバル興業(株)、東京東部漁業協同組合、東京湾遊漁船業協同組合、公益財団法人関東小型船安全協会及び地元ボランティア団体など多くの関係者のご支援に感謝を申し上げます。

また、長年にわたり、ご尽力いただいた江東区、東京都ヨット連盟の皆様にご挨拶を申し上げます。

### 男女総合成績 (天皇杯)

- 1位 千葉
- 2位 佐賀
- 3位 東京
- 4位 和歌山
- 5位 山口
- 6位 大分
- 7位 愛知
- 8位 長崎



# QUANTUM

www.quantum-jpn.com  
info@quantum-jpn.com

[スタッフ募集]

Quantum-Japanでは、セイルメイキングに興味のあるセイラーを募集します。下記メールアドレスに履歴書添付の上、応募をお待ちしています。

japan@quantumsails.com

www.wattsmarine.jp

(株)セイルス・パイ・ワッツ・ジャパン  
本社ロフト

〒238-0233 神奈川県三浦市向ヶ崎町 8-40  
電話:046-882-5451 fax:046-882-4319  
関西営業所(新西宮 YH)

〒662-0934 兵庫県西宮市西宮浜 4-14-3  
電話:0798-23-6410 fax:0798-23-6420



ASTRON  
GPS  
SOLAR

# SEIKO

お問い合わせ先: セイコーウォッチ お客様相談室 0120-061-012 (9:30~17:30土・日・祝日除く)

# タモリカップが嵐を呼んだ?!



「嵐を呼ぶ男」と命名した秋山雄治実行委員長  
(写真/福岡県セーリング連盟)

「日本一楽しいレース」と定評のあるタモリカップが横浜（8月31日、9月1日、横浜ベイサイドマリーナ）と福岡（9月15日、福岡市ヨットハーバー）で行われた。横浜で200艇近く、福岡で90艇近くものエントリーがあったが、残念なことに両会場とも台風のためにレースは中止。タモリさんは一躍「嵐を呼ぶ男」と異名をとることになったが、一方でパーティは大いに盛り上がった。後援団体のJSAFはこの機を捉え、メンバーを増やそうと横浜会場にスタッフを投入した。

レポート/菅原弘（福岡県セーリング連盟）& J-SAILING 写真/濱谷幸江

## 横浜でメンバー獲得

横浜会場のパーティのオープニングでは、主催者からJSAFの活動の紹介があり、それを受けて山崎達光JSAF名誉会長が「会員獲得のために会場を回ります」と宣言。急遽編成されたJSAFガールズを伴ってパーティ会場を巡った。

一方、神奈川県セーリング連盟とJSAF会員増強プロジェクトのスタッフは、特設テントでJSAFに関する問い合わせなどに応じるとともに、会員登録の受け付けを行った。当日メンバーになってくれた人にはタモリカップ特製のマグカップを進呈するなどの特典を用意し、10人が新規メンバーとなった。人数としてはわずかであるが、これまでこの種の直接的な会員勧誘活動を行ったことのないJSAFにとっては大きな一歩となった。

しかし、この夜の横浜ベイサイドは燃えた。マリーナスタッフが「台風でパーティ参加者の動員が心配だったが、予約席はほぼ満杯。タモリさんの人気はスゴイ!」と感心することしきり。タモリさんの「ヨット人口をもっと増やしましょう」の掛け声がセーラーたちに火をつけたのだ。



セーラーが熱狂したタモリカップ・パーティ

## 福岡も盛り上がった

福岡会場は準備期間が2カ月弱しかなかったが、全国から87艇600名超の参加を見た。

タモリさんも前日の艇長会議から駆けつけ、「私の故郷・福岡に呼んでいただきありがとうございます。ヨットレースは楽しいものです。私は明日のパーティに全力を尽くします」と宣言。

レースは中止になったものの、福岡では15日に西福岡マリーナ（通称マリノア）で出場艇による海上パレードが開催された。タモリさんはマリノア名物・観覧車の下で全艇に手を



誰よりも盛り上がったタモリさん



横浜会場でJSAFメンバーになっていただいた新会員（写真/J-SAILING）

振って激励。隣では太宰府天満宮の宮司による安全祈願のお祓い、地元人気女子アナ・新垣泉子さんのナレーションが花を添え、仮装・コスプレ・万国旗・大漁旗なんでもありのパレードとなった。

その後のパーティで秋山雄治実行委員長は「タモリさんは横浜でも、

福岡でも『嵐を呼ぶ男』でした」の言葉に大きな笑いが起こった。

福岡のラテンバンド、サクライスピントコンピントウラがゴキゲンなリズムと華やかなパフォーマンスで盛り上げ、参加者のスタンドアップ状態の中、タモリさんが演奏に飛び入りし、ムードは最高潮。中締めはタモリさんの「来年も福岡でやっていいかな?」の問いかけに、「いいとも!」と場内全員がこぶしを突き上げていた。

横浜、福岡のこの盛り上がりは、ヨットの普及活動の一環となったと感じられたタモリカップだった。



この瞬間、日本は2020年に向けて動き出した(写真/フォート・キシモト)

# 東京オリンピック 2020に向けて

ジャック・ロゲIOC会長の「TOKYO」の一言が印象的だった。この瞬間、日本のスポーツ界は2020年に向けて動き出した。いち早く準備員会を立ち上げたJSAFは2020年に向けてどのような構想を持っているのか。河野博文JSAF会長に聞いた。



2020年に向けて計画概要を語る河野博文JSAF会長(写真/濱谷幸江)

## オリンピックの運営

まず、2020年夏季オリンピック。パラリンピックの東京開催が決まって5カ月以内に開催都市の東京とIOC、そして政府が協議して東京オリンピック・パラリンピックの組織委員会を結成します。この委員会がIOCの代行者として東京オリンピック・パラリンピック全体を統括し、準備や運営にあたるというのが基本です。

それぞれの競技の運営に関しては個別の話になりますが、セーリングの場合はISAFとJSAFが協力してレース運営にあたるわけで、それは国内のレースと同じような構成で行われます。ISAFからは主要なスタッフが派遣されるわけですが、その派遣されるスタッフの中の一部には当然、日本人も含まれているということになります。

また、その背後には専門スタッフを支

援する日本人スタッフが必要になり、すべての分野で膨大な数のボランティアの方々の助けが必要になります。これらのスタッフやボランティアの方々の組織づくりなどを行うために、JSAFはすでにオリンピック準備委員会を立ち上げ、動き始めています。たぶん国内のどの競技団体よりも早い動き出したと思います。

## 東京開催の意味

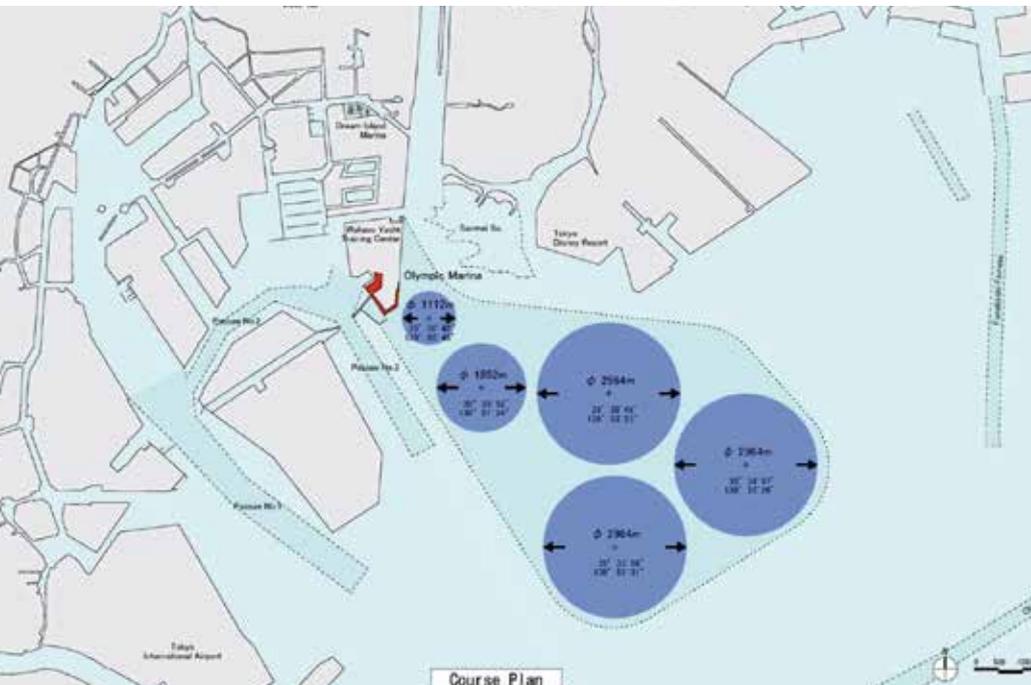
JSAFがオリンピックにかかわるにあたって大きな課題が二つあります。

ひとつは、この絶好の機会に、より多くのメダルを獲得することです。東京大会が従来どおりのやり方で運営されるなら、主催国である日本は全種目にエントリーできるはずですから、そのすべてにおいて最高のパフォーマンスを発揮したい。すでにJSAFオリンピック強化委員会では、長期の戦略を立ててこの目標

に向かって動き始めています。もうひとつは、世界中から集まってくるセーラーに満足してもらえらるレースを運営することです。

その要の一つが人材です。先ほど言いましたが、ISAFから一部のスタッフが派遣されるのですが、圧倒的多数の人は日本の人たちから集めねばならない。セーリングを十分に理解してレースの運営そのものを支援してくれる人材が必要なのです。

これまで私がJSAFの仕事をしていて常々感じるのは、日本のセーリング界は国際的なセーリング界と隔たりがあるということです。これを何とか縮めたい。470級やウィンドサーフィンがオリンピック種目から外されそうになってISAFに積極的に働きかけてその事態を避けたとき、その隔たりが少し縮まったと感じたのですが、しかしまだまだです。この隔たりをもっと縮めるには国際的に



レース海面のプラン図



若洲に建設予定のオリンピックマリナー概要図

活動できる人材をもっと育てねばならない。そしてオリンピックの開催は、この人材を育てる絶好の機会なのです。

一方、JSAFは現場で活躍できる多くの素晴らしい人材をすでに抱えている。レース委員会、ルール委員会、計測委員会、オリンピック強化委員会、国際委員会などレースの現場でのエキスパートが多くなります。そういった人たちをこの機会に大幅に増やすことができるのも、今回のオリンピックならばこそです。

このように、人材の育成、確保こそが選手に満足してもらえるレースを運営する大きな要素なのです。そして、こうして育つであろう人材がこれからの日本のセーリング界のレガシーになると思います。

### 新しいオリンピックマリナー

満足できるレースを運営するためのもう一つの要素は、新しいオリンピックマリナーです。

これにはマリナーの建設も含まれるのですが、建設計画の概略はすでにISAFに提案し、承認を得ています。これは、マリナーとして必要な機能はもちろんですが、選手や運営スタッフが動きやすいスペースを確保し、メディアなどが十分に活動できる場所を用意することなども含まれます。

今回、コンパクトな開催を目指してセーリング競技会場が他競技の会場とそれほど離れずに建設できることはメディア対策としては大きな意味を持ちます。メディアが取材しやすい環境にマリナーがあるのですから、セーリング競技の露出も増えることが期待でき、これは取りも直さず選手にとっての大きなメリットになり、日本国内におけるセーリングの普及にも大きく寄与するはずです。

さらには、ISAFから強く示唆されている、多くの人々がレースを観戦でき

る観覧席もかなりのスペースを取って作る予定になっています。

加えて、東京湾の水質の浄化も目指したい。私が参加した30年前の群馬国体の時よりは格段にきれいになっていますが、より一層きれいな東京の海にする努力をしたいと思っており、すでに東京都にも訴えかけています。

一方、日本で10パーセント以上の小中学校が集中している東京という都市でありながら、ディンギーの本格的なマリナーがないという現状があります。お父さんお母さんは子どもにセーリングさせるために長い時間をかけてマリナーまで移動せねばならない。若洲に新しいマリナーができることにより、東京オリンピック・パラリンピック以降その時間が大幅に削減されることになる。このメリットは子どもたちだけにとどまらないわけで、おそらくこれはセーリングの底辺拡大に大いに役立つはずだ。

このように新しいマリナーによって日本セーリング界のレガシーがもう一つ生まれることになると考えられ、今回の招致にあたってISAFはこの点を大きく評価してくれたと思っています。

### これからの動きは

具体的に選手の強化ということになると、オリンピック強化委員会がそれこそ7年後を見据えた方針を打ち出すわけですが、2020年までを明確に視野に入れた強化となるでしょう。その前にリオデジャネイロオリンピックでもいい成績を出さねばならないのですが。

一方、JSAFの準備員会で今議論していることは、取りも直さず人材確保の方法です。

その方法ですが、東京オリンピック・パラリンピック招致が実現したのもオールジャパンの力であり、セーリング競技の運営もオールジャパンの力で行っていき

たいと考えています。

幸い前回の東京オリンピックと違うのは、今回はJSAFが組織としてかなりしっかりしてきており、各委員会が優秀な人材をすでに擁しており、これらの委員会をドライブインフォースにしてさらなる人材を確保していきたいと考えています。ただしこれには数百人の人が必要になってきますので、その仕事しかなしいというものではなく、複数の分野の仕事がこなせるセーリングの人材に関するプールのようなものを作り上げたいと思っています。また、7年ありますので、これを機会にこういった人たちに国際的な資格をとっていただくように勧めたいと思っています。

また一方、既存の委員会単位だけでは様々な能力を持った人たちにアプローチできない可能性もあるので、異なったチャンネルを使って人材の確保に努めたいし、セーリング経験者以外にもアプローチしたいと考えています。

マリナーの建設に関しては公共事業という位置づけになり、大部分は行政に委任するしかないのですが、ISAFからはマリナーに関して今後も意見交換をしたいと言っていますし、IOC総会でも開催都市はIFの意見を聞いて柔軟に対応してくれるようにとの質問もあったので、そのような流れの中で準備委員会は積極的にマリナーづくりに関しても意見を言っていくつもりです。

また、オリンピックばかりではなく、セーリング競技のあるパラリンピックに関しても準備員会が対応を進めるべく準備しています。

JSAFメンバー各位も東京オリンピック・パラリンピック2020に様々な面から協力をお願いしたいし、日本が得意とする「おもてなし」の心を存分に発揮してもらいたいと思います。

# JAPAN CUP 2013

## WINNER

# SUMMER GIRL

JAPAN CUP 2013 はディスタンスレースを含む全 8 レースが行われ  
SUMMER GIRL(FIRST40.7) が 7 レースストップと圧倒的な強さで優勝  
を飾りました。

SUMMER GIRL はノースセールの 500 GP シリーズをメインセールとア  
ップウィンドセールに、V-Series をダウンウィンドセールに使用。

ノースセールのデザイン力が艇のポテンシャルを最大限まで引き出し勝利  
に貢献しています。

### Recent Results

#### 2013全日本ミドルボート選手権

IRC	1.MIWA
	2.CHOVE CHUVA
	3.WAILEA

#### Transpac 2013

HPR	1.Team Beecom
Div5	2.Crescent III
Div7	1.Ten Quarter
	2.Kiho

Powered by NORTH SAILS

### JAPAN CUP 2013 RESULTS

- 1st SUMMER GIRL
- 2nd SWING
- 3rd GALAXY



*Faster by Design*

[www.jp.northsails.com](http://www.jp.northsails.com)

本社・横浜ロフト 045-770-5666  
関西ロフト 0798-26-7771  
北海道ロフト 0134-25-3227

[info@jp.northsails.com](mailto:info@jp.northsails.com)

photo by Kazushige Nakajima



# 〈サマーガール〉、 2連覇!

## JAPAN CUP 2013

ジャパンカップ2013は8月13日から17日、10艇の参加を得て、新西宮ヨットハーバーをベースに行われた。

優勝は〈サマーガール〉、昨年に続き2連覇である。

横山英博レース委員長、そして船澤泰隆氏にレポートをお願いした。

写真/中嶋一成 (DailySailing.com)

# 1 REPORT レースについて

### ■参加艇

開催決定の直後から参加艇の勧誘を始めた。参加可能なTCCレーティングを持つているオーナーと過去の参加艇に案内を送り、個別にも参加の意思確認を試みたが、最終的には10艇に留まった。

東海から〈GUST〉、九州から〈GALAXY〉の2艇、関西ヨットクラブ所属の8艇である。スタートの迫力とリコールの確認を考えると15艇前後の参加がベストであろう。13艇程度のエントリーを目論んでいたため、少し残念だ。また、関東水域からの参加がないのはいささか寂しかった。

### ■レース

シリーズはソーセージコース8本とショートインシヨア1本の合計9レース。ショートインシヨアの係数は1.5。風速と風域を考慮して4レグで先頭艇60分、最終艇90分、6レグで80分〜110分。所要時間の物足りなさはあまり感じなかったことと思う。

初日は予定通りのスタートだったが、2日目はあまり風を望めない状況なので、陸上にAP旗を掲揚し、本部船のみが風向と風速のチェックのためにレース海面に向かう。

帆走指示書ではAP旗の掲揚は出艇申告の受付開始前としていたが、実際の掲揚時刻は過ぎていた。今回は時間設定を考慮する必要があ

る。ただ、風のない海面、しかも暑い中で漂ってスタートを待ち続けることを考えると参加者の理解は得られたと思う。

ショートインシヨアのコース設定についてはかなり悩んだ。午前のスタートでその日の内(深夜まで)にフィニッシュできる距離は、TCCが1:37.1から1:05.2となると70マイルぐらいだろう。ただ、夏の大阪湾は南へ行くほど風が弱くなる。神戸海上保安部にブイ設置可能場所の確認をし、風を期待して、西宮港沖―淡路島飯屋沖―関西空港沖―淡路島飯屋沖―西宮港沖(約56マイル)のコースを設定した。

ちなみにレース当日の明石海峡の潮流は最大3.8ノットの西北西流。微風のスタート後は予想に反して順調な風が吹き、約7〜9時間で全艇がフィニッシュ。夜間に備えてマークパイにはフラッシュライトも付けたが、薄暗い内に終了したので、あまり効果を発揮しなかった。

近年ロングレースが復活しているが、長い距離を走るレースをジャパンカップのインシヨアレースに組み入れるには5日間の日程では無理がある。

4日目はショートインシヨアの終了時刻を考慮して、当初からスタート時刻を12時30分としていた。予定通りスタート。6レース目終了の頃に一瞬「3レース」という言葉が頭をよぎった。7レースの終了時刻に再考するが、レースの終了時刻と夕刻の風向の変化を考え、2レースで終了。

最終日は早い時間からの風を期待するが、13時からようやくスタートして1レース。結果、8レースでシリーズを終えた。



全般的に軽風に終始した今回のレースだった

全般的に軽風に終始した。安定した南西の風がもう少し吹きあがる予想だったが、ソーセージコースは7レースともほとんど風向の変化もなく、C旗が登場する場面もほとんどなかった。

ノボテル甲子園でのパーティーではレースのビデオが上映された。迫力のある映像は終了時、大喝采だった。

### ■最後に

この大会では準備段階からIRC委員会、JSAF外洋計測委員会、JSAF外洋内海の協力を得ることができた。また、関西ヨットクラブのメンバーにも運営艇の提供や参加艇のための係留場所の移動等をお願いした。関係者の方々に改めてお礼を申し上げる。(横山英博/レース委員長)

## REPORT 2 ちよつと 変わった 優勝記

### ジャパンカップのレースとは

ジャパンカップは大型のヨットで日本一を競うレース。大きさや性格の違う艇が集まり、ハンディキャップを用いてレースを行います。

レース展開がわかりづらい面もありますが、ハンディキャップを計算し順位を把握しながらレースを行うと、コース選択が良かったのか、悪かったのか理解できます。

他艇とはスピードが違うので、自艇が速く走れているかの評価は、計器を用いて測ります。複数のセンサーを使った情報を表示させる計器

を駆使し、自艇が持っている性能を最大限に引き出せているかを確認しながらレースするので。

スピード差がある艇が競うため、コースの選択は難しい判断に迫られます。なぜなら前後左右に各艇が離れて走っている場合でも、所要時間から計算すると同じ修正時間、つまり横並びになることもあるからです。

とくにレース後半になると、走っている位置が10分程度離れてしまい、お互いに違う風を使いながら決められたコースを最短時間で走らなければなりません。走っている場所が前後に違うので、風の変化は、左右の振れ、だけでなく、強弱がレースに影響することもあります。

### 〈サマーガール〉のアプローチ

2012年、13年と連勝できた勝因のひとつは、〈サマーガール〉がターゲット風域から大きく外れなかったことがあげられます。

ジャパンカップはIRCというシングルナンバのハンディキャップを採用しているため、風が強かるうが弱かるうが、どんなコースであっても同じハンディキャップが適用され、レースを行います。

したがって開催1年前にレース開催地が決まると、そのレース海域でよく吹くであろう風域を予測し、その風域で艇の性能とハンディキャップをバランスさせる作業から準備は始まります。たとえば強風を予測し、その風域でレースを行えば、軽風域に標準を合わせた艇よりも有利にレースが展開できます。

ターゲットの風域が決まると、セーリングペンタリを決定しま

す。

〈サマーガール〉は12年大会の前に軽風域での性能アップを図るため、ジブセールのインペントリーを変更し、それまでライト/ミディアム、ミディアム/ヘビーと2種類だったセールのコンビネーションを、ライト、ミディアム、ヘビーと3種類に増やしました。ライトはしっかりと深いカーブを持たせ、7ノット以下の風域で艇速がアップし、レース展開がはっきり変わりました。

13年大会では、12年大会で感じた軽風域での自艇の弱点を解消するためにダウンウインド用のセーリングペンタリーを変更しました。5ノットでの特定のアンクルに対するポイントのセーリングを採用し、いい結果につながりました。こういった準備がレースに与える影響は大きいものです。

### やはり「チームの総合力」

艇をレース前までにベストなコンディションに調整し、艇の性能を引き出し、風を読みながらレースを行うのは、言うまでもなく総勢20名を超えるチームの総合力です。誌面の関係上、全メンバーを紹介することはできませんが、敬称略で以下に紹介します。

パウマンは元ニッポンチャレンジ柴田俊樹。マスト中村豊。ビットマン服部好彦。トリマーにはジャパンカップ優勝5回、J24世界チャンピオン・トリマーのノースセール中嶋一夫。メイントリマーはシヨアチームのボスも担当するRYS田中清俊。ナビゲーターにはレース経験豊富なヨットデザイナー東島和幸。タクトイシヤンは兵藤和行。10年間



オーナー、スキッパーともに長期間同じメンバーで戦ってきたことを〈サマーガール〉勝因の一つに挙げた

優勝インタビュー

馬場益弘 〈サマーガール〉オーナー

「感無量」です



ホームポートの新西ノ宮ヨットハーバー（関西ヨットクラブ主催）で開催されたジャパンカップに勝てたことは誠に「感無量」です。

1988年、熱海で開催されたジャパンカップに最年少オーナー（36歳）として参加した

とき、最終レースで三宅島の手前でフォアステイが切れてリタイアし、悔しい思いをしたことがあります。そのころから、ジャパンカップに勝つことが私の目標になり、しかもホームポートでの優勝がさらに大きな目標でした。それが実現し、まさに今回は「感無量」です。

オーナーとして考える今回の勝因は、ずっと同じメンバーで目標に向かってきたからだと考えています。私の目標をクルー全員が理解し、意思の疎通がとてもスムーズなチームに成長してくれました。

レース中、艇上は静かですし、ミスがないので怒号も飛ばない。マーク回航も流れるようにこなしてくれるし、誰もイライラしていない。私はといえばバックステイと下マーク回航時のメインシートのウインチを担当。それと前後の船とのタイム差をヘルムスマンとタクティシャンに伝え、全体を掌握すればいい。

全員がお互いに信頼し合っているから勝ち得た勝利でしょう。

今回のディスタンスレースでは、タクティシャンが「8mくらいの南風が2時ごろに入ってくる」と断言。その言葉を信じ、ずっとフリートの左海面に出していたのがよかった。1時ごろに読みどおりの風が入ってきました。付き合いが長いからとれた戦略です。

次の目標をと問われても、答えは今年と同じ、ジャパンカップの制覇です！

チームの戦略を担当している元ニッポンチャレンジ、オリンピック出場経験もあるJ24世界チャンピオン。戦略面は当然ですが、各ホジションの役割を把握していて、咄嗟の判断でサポートに入り、未然にクルーワークの乱れを防ぐ役割も担っています。

馬場益弘オーナーは、バックステイと相手艇との距離差を把握。この情報がタクティクスに活かされます。

また、陸に帰ってから重要です。井上がサポート体制を整え、各選手がストレスなく翌日のレースを迎えることができます。

馬場オーナーを中心としたチームが非常によい状態で機能していると感じています。艇齢11年の〈サマーガール〉が2年連続3度目の優勝を手にすることができた要因は、チームの総合力と言えるでしょう。

最後に  
日本のセーリング界は2020年東京オリンピックに向かって大きく変化していくでしょう。すでにオリンピック種目に採用されている艇種では、たくさんの若いセーラーがいます。

そして私たちには、若いセーラーの活動を応援し、サポートし、そしてセーリングにはもっとたくさんの楽しみ方があることを伝える責任があります。（松澤泰隆／サマーガールスキッパー）

リンピックを目指し活動しています。デインギーはセーリングの一つの入口であり、セーリングの楽しみのほんの一部分です。デインギーだけがヨットではないし、レースだけがセーリングではありません。生涯楽しめる乗り物として、レジャーとして、そして競技として、そのほんの一部分であるデインギーをしつかりと楽しんでほしい。



レース5日目にはいい風が吹き、4レースを消化した。全フリートを半分に分け、2回に分けてスタートする

© adamo aono

## OP級アジア選手権 2013



# セーラーとしての意識を向上させたい

OP級アジア選手権が8月21日～30日まで神奈川県葉山町で開催された。日本からは24選手が参加した。

チームリーダーの吉川巖一さんにレポートをお願いした。

写真 / Adamo Aono



SIN111は優勝したシンガポールのTEO RYAN選手



チームジャパンの面々

## はじめに

まず大会のスポンサー、大会役員および大会組織委員会、地元をサポートの皆様へ感謝いたします。連日連夜、膨大な作業と戦いながら大会を成功裏に収められた方々の尽力に敬意を表するとともに、参加した選手はもとより、多くの次世代の日本のOPセーラーが国際大会を間近に見て、今後の成果に必ず結びつくことを確信しました。

## 日本選手の状態

地元日本での開催でもあり、葉山での事前練習をじっくりと行うことができた。練習日の8月20日の風速は20ノットを超え、波高も3mという絶好のコンディションでしたが、それ以後は風に恵まれず、最初の2日間はレースは行えませんでした。

レース3日目、北の微風の中なんとか2本のレースを行い、チームレースのグリップを確定しました。

4日目のチームレースはシンガポールの圧勝でした。3チームを投入した日本の戦績は下記のとおりです。

チーム1 香港／勝、シンガポール／負  
スリランカ／勝、米国／負

チーム2 ニュージーランド／勝、米国

／勝、シンガポール／負、韓国／負

チーム3 韓国／負、スリランカ／負

強豪を相手に4勝と健闘しましたが、シンガポールやタイに勝つためには更なる戦力アップが必要でした。

シンガポールはチームレースで上位を占めた選手がフリートレースでも上位を独占しました。そのため、上位レグに進んでからは、トラップ等によりチームレースの技術を発揮する前に1マークまでに決着がつくというケースが多く見られました。

徹底した基本練習の積み重ねにより、ボートコントロールやスピードコントロール技術の向上を最大限に優先し、選手のスキルを向上させる必要が感じられました。

## 5日目は4レースを消化

今大会で最大の4レースを消化したこの日、とくに目立ったのは上位選手が徹底した上スタートを繰り返し、何人もの選手がBFDの対象となったことでした。

上位を独占したシンガポールやタイの選手は、ベストポジションでのスタートができなければ上位に残れないことを徹

底して刷り込まれおり、BFDになってもベストなスタートに挑む姿勢が強く感じられました。

## 最終日

大会最終日、前日の反省により多くの日本選手は徹底した上スタートを心がけ、優れたポジションでのスタートが目立ちました。スタートラインの上側から3艇を日本の選手が占めるなど、1日で大きく変化が現れました。この結果、シングルでの成績を収める日本選手を見ることができました。

## 選手の生活について

24人という集団の中で選手が競技に集中できるよう、大会期間中の生活態度については各選手に任せていました。しかしながら、必ずしも競技に集中できなかったり、体調を崩している状態ではなかったと言わざるを得ませんでした。大人の指示でリーダーを決めた後は、選手の自覚が増し、結果的には競技に集中できる環境が作れたと思います。

## シンガポールについて

本大会で上位を独占したシンガポールチームは、すでにゴールドフリート(トップ

10)選手に加え、シルバーフリート(20位以下)の選手を帯同させていました。これにより、来年、上位を狙う選手を計画的に国際大会に参加させているとのことでした。

シンガポールはヨットを国技とし、国を挙げてサポートしています。

学校とハーバーが同じ場所にあり、毎日、午後からセーリングができる環境が整備され、OP専門のコーチを海外から3人招聘し、つきつきりてコーチングします。

強風対策としてオーストラリアで長期合宿を行い、ワールドなど大きな大会になると1カ月以上前から現地入りするなど予算もしっかりあるでしょう。

このようなセーリング環境を背景に、ジュニア離れたセーラー達が続々と生まれてくるのでしょうか。

## 審問について

今回、日本選手に対して2件の審問がありました。そこで感じたのは、海外選手は審問中에서도笑顔を絶やさず、自分の主張ができる場として大変ポジティブに審問に臨んでいたことでした。

後日、シンガポールのジュリーから聞いたことによると、「シンガポールでは

OPに乗っているときからオブザーバーとして選手を審問に積極的に参加させている。これにより、プロテストやルールの理解が進み、当事者としてプロテストに参加する際も堂々と、また協力的に参加できるようにする」とのことでした。

## 反省点

今回、感じたのは、選手の競技に対する意識でした。日本の選手は勝ちたい意識は強くなるのですが、本当に勝ち続けるために備えていなければいけないものが少し足りないと感じられました。

整理整頓、自分のセーラーや道具を常にベストにしておく、十分な睡眠をとるために快適な環境を維持する、サポートしてくれる人や他の選手への敬意など、セーラーとして海上に出る前に、いずれも欠かしてはいけない意識です。

通常の練習や日常生活において、これらの意識向上を各選手が図れるよう、各所属チームの指導者にサポートいただくようお願いしたいと思います。

これらの意識向上が整った状況で、ナショナルチーム選手として大会に参加すれば、もっと高い順位に選手を導いていけるのではないかと思います。(レポート/吉川巖(日本チームチームリーダー)



RESPECT THE ELEMENTS™

www.gill.jp

Fortune Corporation  
info@gill.jp

New York Yacht Club  
Invitational Cup 2013

# JSAF チーム 6位に入る

レポート／寺澤寿一  
photo by Rolex / Daniel Forster

大会サイト  
<http://invitationalcup.org/>

**居並ぶロイヤルの冠**

「アメリカズカップやボルボ・オーシャンレースとなると敷居が高いので、まずは総力を挙げてニューポートで優勝を狙います。今回はJSAF最期待してください」とレース直前の植松眞氏（JSAF副会長）。

New York Yacht Club Invitational Cup は、過去2回、世界の名門ヨットクラブが招待され、アメリカ合衆国ロードアイランド州・ニューポートの New York Yacht Club をベースに開催されている。あまりにも様変

わりしてしまったアメリカズカップに対抗し、健全なモノハルのキールボートによるアマチュアリズム尊重のレガッタ復活を意図していることは明白であり、使用艇には大会の主旨にあった SWAN42 が採用されている。

過去2回は植松氏のエスメラルダと大倉俊氏のスレッドのクルーを中核に編成し、JSAFとして参加した。第1回大会（2009年）は3位、第2回大会（11年）は6位と健闘し、第3回大会（13年）も招待状が届いた。

イギリスの Royal Yacht Squadron (ROYAL)・カナダの Royal Canadian Yacht Club・オーストラリア



実力差がクッキリと現れる上マークでのレース艇の連なり



**BALTIC**  
LIFEJACKETS SWEDEN

**BALTIC**  
LIFEJACKETS SWEDEN

OFFSHORE ハーネス付ライフジャケット

ハーケンジャパン株式会社  
〒662-0934 兵庫県西宮市西宮浜 2-42  
TEL:0798-22-2520 FAX:0798-22-2521  
MAIL : info@harken.jp WEB : http://harken.jp



6位と健闘した日本代表 JSAF チーム

の Cruising Yacht Club of Australia は、香港の Royal Hong Kong Yacht Club など「ロイヤル」を冠する名門ヨットクラブが集まる中、日本は日本外洋帆走協会（NORC）の流れを組んだ JSAF チームが招待され、参加した。

### 優勝はカナダチーム

ようやく安定した風が吹き始めた最終日、スタートから大きなリードをした Royal Hong Kong Yacht Club に続いて1上を2番手で回航した JSAF チーム。前日までで総合6位につけている。6位以上になれば次回も招待される可能性が高くなることから、少しでも順位を上げたいところ。

ところが、1下を回航した直後に風がパタッとなくなり、ノーレース。「風、レース展開など」今回のシリーズを象徴するレースでした」とスキッパーの浜崎栄一郎氏が振り返った。結果は、10レースを消化して前大会と同じ総合6位。毎年参加艇のレベルがあがっている中で大健闘だった。

優勝は、Royal Canadian Yacht Club で、連覇を飾った。「J」のレガッタでチームは成長したし、多くのことを学んだ。2015年に戻ってくることを望んでいるが、はるかに厳しい戦いになるだろう」とスキッパーのテリー・マクラフリン氏が語った。

### まるで社交界

13カ国を代表する20のヨットクラブチームが、友好的に、紳士的に、スマートに行動しているさまを目の当たりにして、これがレース全体の精神であることにまず感動を覚えた。

20艇の42フィート・ワンデザイン艇が、スタートからフィニッシュまで大混戦を演ずるレース展開は、国内で

は皆無であろう迫力あるシーンばかりで、久しぶりに胸が高鳴った。

また、各ヨットクラブチームがホストクラブから大砲の敬礼を受けるパレードがあり、日没にはアメリカ国旗降納の厳かなる儀式あり、観覧船は豪華で洗練されたセーリングボートとパワーボートが用意され、大会期間中のディナーや表彰式には厳しいドレスコードがあり、紳士と淑女の社交界の呈をなしていた。

New York Yacht Club のクラブ会員は約3千200人、22〜89フィート艇が約千艇。メンバーはニューヨークはじめアメリカ全土と世界中に散らばり、その構成はプロの船乗り、オリンピックメタリスト、アメリカズカップのスキッパーやクルー、そしてセーラーカーにヨットデザイナーなどである。植松副会長もメンバーである。

その象徴としてのクラブハウスは、小さなゴシック様式の建物だが、中にはエレガントなフォーマルダイニングルームやメンバーオンリーのレストラウンがあり、芝生から見下ろすハーバーは絶景であった。これが New York Yacht Club のプライドであり、最高のホスピタリティである。

### 次回を見据えて

次回は2015年9月開催予定。植松副会長は「今回も参加チームを公募したが、約700万円の経費（エントリーフィー、チャーターフィー、渡航費、滞在費他）を負担できるチームが出ないのが現状です。JSAF 外洋艇公式イベントとして、日本選抜チームを形成し勝ちに行かなければ、資金・チーム編成・広報活動などもっと具体的に検討する必要がありますね」と話していたが、その眼は次回チャレンジを見据えているようにも思えた。

## 夢にむかって・・・ セーリングのナショナルチームとユースチームを応援します!

ナショナルチーム・ユースチームの海外遠征の手配、  
インド洋の楽園 セーシェルへのリゾートツアー、  
障害者スポーツの海外派遣、  
フランスへの個人語学留学の手配、  
業務渡航その他、海外への各種渡航手配を行っております。

株式会社 **グロリア ツアーズ** TEL:03-6661-9080 (代表) <http://www.gloria-tours.jp>

Full Speed Ahead

## Carrying dreams, Carrying the future

子供たちの未来が輝かしいものであって欲しい。そのために私たちは運び続けます。  
ヒトやモノを運ぶことが、夢を運ぶことにつながると信じて。船だからこそできること。  
商船三井だからこそ、できることがあります。 [www.mol.co.jp](http://www.mol.co.jp)

**MOL** 商船三井

# CATCH THE WIND

YAMAHA  
SAILING CRUISER  
&  
DINGHY SERIES



●お問い合わせは.....  
○ディンギーヨット/ オクムラボート 販売株式会社 〒671-0111 兵庫県姫路市の形町の形2013 tel.0792-54-5630 <http://www.okumuraboat.co.jp>  
○クルザーヨット/ ニュージャパンヨット株式会社 〒421-0502 静岡県牧之原市白井7-9 tel.0548-54-0221 <http://www.njy.co.jp>

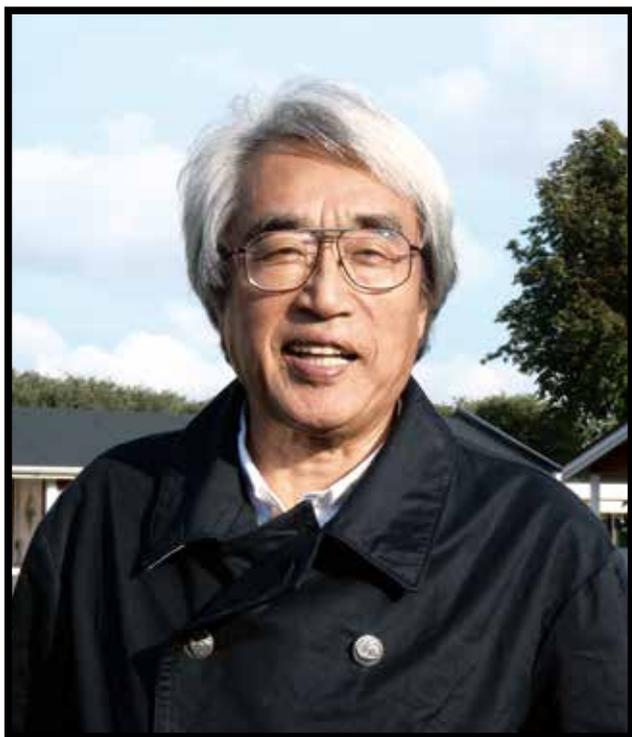
## 並木茂士さん（JSAF顧問）逝去

旧NORCの会長を務められたJSAF顧問の並木茂士さんが10月8日、逝去されました。

並木さんが日本のセーリング界に残された功績は多大であり、その薫陶を受けたセーラーは数多く、叱咤激励された現役セーラーは今もなお日本の海で活動しています。

早稲田大学高等学院ヨット部の先輩で、1952年の宮城国体で故人をクルーに擁し高校スナイプ級で優勝した武村洋一さんに追悼の文章をいただきました。

合掌。



◆並木茂士さんの略歴◆ 神奈川県出身。早稲田大学、高等学院ヨット部出身、早稲田大学第一理工学部卒業。1977年に〈月光V〉、1993年に〈月光VIII〉でトランスパシフィックレース（ロサンゼルス～ハワイ）、1979年にアドミラルズ・カップ（イギリス）に日本チームの一員として出場。その他世界の海で数多くのレースに参戦。日本外洋帆走協会会長、日本セーリング連盟顧問、早稲田大学ヨット部OB会長などを歴任。

2013年7月27日、並木が入院した。この3〜4年、何回も入院をくりかえしたとか。しかし、今回の入院は退院のない入院だった。そのことを知っていたのは、担当の医師と並木夫人だけだった。

7月31日、私は山崎達光氏と一緒に並木を見舞った。並木は予想していたよりもはるかに元気そうだった。

例によってよくしゃべった。すこし遅れて並木夫人が来院した。しばらく時を過ごした後、帰ろうとすると、並木夫人が追いかけてきて廊下のベンチでそのことを告げられた。他に知っているのは月光グループの中澤さんだけだとも云われた。

だいぶ以前から、並木の病気はもう治らないのではないかと感じていたが、夫人からこうはつきりと告げられたのはじめてだった。

並木は輸血と栄養剤の点滴で生きていた。腹部の穴も日々悪化していた。すでに家庭での療養の範囲を超えていた。

しかし、ベッドの上で、並木の意識はなお明瞭であり、意気軒昂でさえあった。生還することのない病床で、よくしゃべる並木が可哀そうでならなかった。「すこしゆっくりしろよ」と言いたかったが、気を抜いてしまえば終焉の時間が早まるのではないかとという危惧が私をためらわせた。

9月9日、並木は個室に移された。それがどういう意味を含んでいるかは、考える余地のないほどはつきりしていた。

急激に体力は衰弱していき、話す言葉も聞き取りにくくなってきた。それでもなお意識が混濁することはなかった。記憶力は健在だった。

「わかった、わかった」時計のベルトがもう締める穴がないほどゆるくなってしまった細い腕をさすりながら、私は言葉を続けることができなかった。

並木茂士 77歳  
2013年10月8日 01:49  
横浜市金沢区 済生会若草病院にて没

並木は早稲田大学理工学部を卒業後、外洋ヨットの世界でセーラーとして大きく成長した。自艇〈月光〉を駆って世界に雄飛した。そして「社団法人日本外洋帆走協会」（NORC）の会長にまで昇りつめ、日本外洋ヨット界の頂点に君臨したのだった。

また、早稲田大学ヨット部のOBとして、早稲田ヨットの父 故川沢信三郎氏の後を継いで早稲田ヨットクラブの会長に就任した。現職は公益財団法人日本セーリング連盟顧問。

並木の強力なリーダーシップとメツセージは、高度なシーマンシップに裏付けられたものだった。だから乱暴とも思われるような言葉にも説得力があった。

明晰な頭脳と抜群の記憶力。育ちの良さからくる包容力が、周囲の人たちを、特に若いセーラーたちを魅了した。油壺「月光ハウス」のナミキは外国人セーラーにも人気の的だった。

並木のいない油壺、並木のいない「月光ハウス」。しばらくは海がつまらなくなってしまった。

2013年10月11日深夜 武村洋一



**病院部門**

北柏リハビリ総合病院(217床)

**健診センター**

柏健診クリニック  
汐留健診クリニック

**クリニック部門**

西浦眼科  
まちや外科内科  
梅郷整形外科クリニック(13床)  
天宣会睡眠呼吸クリニック

**在宅福祉事業部門**

エンゼル・サービス野田(訪問介護)  
エンゼル・サービス柏(介護ショップ・在宅介護支援)  
エンゼル・サービス篠籠田(介護ショップ・在宅介護支援)

**介護老人保健施設部門**

梅郷ナーシングセンター(124床)  
北柏ナーシングケアセンター(120床)

**介護老人福祉施設部門**

みゆきの郷(120床)  
流山こまぎ安心館(110床)

**介護福祉部門**

梅郷ナーシング居宅介護支援事業所  
北柏リハビリ総合病院居宅介護支援事業所  
居宅介護支援センターみゆき  
居宅介護支援事業所 こまぎ安心館

**訪問介護ステーション**

北柏訪問看護ステーション

**フィットネス部門**

エンゼルフィットネス

**研究部門**

日本成人保健医療問題研究所



〒277-0021 千葉県柏市中央町1-1 TEL 04-7167-6667(代表) www.tensenkai.or.jp

「感謝な心」で  
信頼の医療サービス  
をご提供いたします



ミズノは2020年の東京招致活動を  
応援しています。



うまいぞ、  
長尾くん!

名前で  
呼ばれ  
ちゃった…。  
(ドキドキ)



会えるのは、  
室伏選手だけじゃない。

21競技、300名以上の有名アスリートが  
講師に登録。ミズノのスポーツ振興イベント  
「ミズノビクトリークリニック」。

キミも、有名選手に会えるかも! 「ミズノビクトリー  
クリニック」は、オリンピックや世界大会など…  
さまざまな舞台上で活躍したミズノの契約選手や  
社員選手を講師に招き、実技の指導や講習、サイン  
会やトークショーなど行うイベントです。講師に登録  
している選手は21競技300名以上。スポーツは  
もっと好きになると、きっと、うまくなるよ。



**スポーツの楽しさを伝え、広めています。**

開催レポートはこちらから… **Victory Clinic** <http://www.mizuno.co.jp/victoryclinic/mizuno.jp> ☎0120-320-799

# 国際VHF無線用免許講習会

舵社主催  
KAZI マリンスクール  
海上特殊無線技士講習会を  
10%割引で受講できます

**JSAFメンバー  
限定割引**

## 専用申込書が必要です

お申し込みには、JSAF会員限定の専用申込書が必要です。専用申込書はJSAFホームページからダウンロードするか、KAZIマリンスクールまでお電話でご請求ください。

[お問い合わせ・申込用紙請求先]  
JSAF外洋安全委員会ホームページ  
[jsaf-azen.jp/1-7-2.html](http://jsaf-azen.jp/1-7-2.html)  
KAZIマリンスクール  
TEL 03-3434-0941

必ず  
JSAFメンバー  
専用申込書と  
お伝え下さい。

## お申し込みは、 ファックスで、 JSAFまで

お申し込みには、JSAF会員限定の専用申込書に必要事項をご記入いただき、JSAF外洋安全委員会までFAXにてお申し込み下さい。

[受講申込みFAX送付先]  
JSAF外洋安全委員会  
FAX 045-544-5813

## お支払はカード、 現金書留、 お振込等で

JSAF外洋安全委員会にお申し込み後、KAZIマリンスクールより受付確認の連絡を入れさせていただきます。その際にお支払方法をご指定ください。各種クレジットカード、銀行振込、現金書留でのお支払がご利用いただけます。また、システムKAZI会員の方はシステムKAZI自動引き落としもご利用いただけます。

## 第2級海上特殊無線技士 軽減コース

[受講料] 28,000円 ▶ **JSAF会員  
限定価格 25,200円(税込)**  
(免許申請料、教科書代含む)

第2級は国際VHF25WまでとDSCの運用が出来る資格です。軽減コースは第3級からのステップアップコースで、第3級海上特殊無線技士資格を持つ人のみ受講可能です。1日7時間の講習を受講し、終了試験に合格すると資格を取得できます。

第26回 **2014.1.26** (日)  
大阪教室 AM9:00-PM7:30

[会場] いずみさの関空マリーナセミナールーム  
大阪府泉佐野市りんくう往来北6番地  
(いずみさの関空マリーナ共催)

[定員] 50名(定員になり次第閉め切らせていただきます)

第27回 **2014.2.16** (日)  
東京教室 AM9:00-PM7:30

[会場] LMJ 東京研修センター 2F 特大会議室  
東京都文京区本郷 1-11-4 小倉ビル(東京ドーム近く)

[定員] 50名(定員になり次第閉め切らせていただきます)

## 第3級海上特殊無線技士

[受講料] 23,000円 ▶ **JSAF会員  
限定価格 20,700円(税込)**  
(免許申請料、教科書代含む)

国際VHF、5Wまでの運用ができる資格です。1日6時間の講習を受講し、修了試験に合格すると資格を取得できます。どなたでも受講出来ます。

第38回 **2013.11.17** (日)  
東京教室 AM9:00-PM6:30

[会場] LMJ 東京研修センター 2F 特大会議室  
東京都文京区本郷 1-11-4 小倉ビル(東京ドーム近く)

[定員] 50名(定員になり次第閉め切らせていただきます)

第39回 **2013.12.8** (日)  
大阪教室 AM9:00-PM6:30

[会場] 此花会館 402、403号  
大阪市此花区西九条 5-4-24

[定員] 50名(定員になり次第閉め切らせていただきます)

- 最新の講習会日程については、KAZIホームページをご覧頂くか、KAZIマリンスクールまでお問い合わせください。
- 各回定員になり次第締切となります。●申込書をご送付いただいた場合でもお断りする場合があります。
- 受講料入金時をもって正式申込みとさせていただきます。●完全予約・定員締切制のため正式申込み後の日程変更および返金はできません。

受講申込みFAX送付先  
JSAF外洋安全委員会

# FAX 045-544-5813

リオデジャネイロ募金寄付・協賛社



関西ヨットクラブ



環境キャンペーン・協賛社

外洋キャンペーン・協賛社



平成25年度賛助会員



2020年開催オリンピックが東京に決定! そんな熱い興奮のなかで、東京国体が開催されました。セーリングをいかに「見せる」競技にするのか永年の課題でしたが、今回、地上と海上にカメラを設置して実況放送をインターネットで配信しました。イマ風というと、本当に多くの「いいね!」を頂戴いたしました。各方面のプロからの協力と、何よりも熱意を持って取り組まれた東京都連山本氏に心から感謝い

たします。アーカイブでもご覧いただけますので、「スポーツ祭東京2013セーリング」で検索を! この国体に参加している選手から2020年に代表となるセーラーが出ると考えると、感慨深い大会でした。あらためて、オリンピックの誘致にご尽力されました河野博文JSAF会長はじめ委員会のみなさまに敬意を表します。

(柳澤康信/広報委員会委員長)

**NO.103**

監督・選手565名、参加艇数347艇が全国から集まった東京国体セーリング競技。男女総合成績の天皇杯、そして皇后杯は千葉県が獲得した。(撮影/濱谷幸江)



J-SAILING No.103 平成25年10月25日発行 通巻457号 昭和42年12月25日第三種郵便物認可  
発行/公益財団法人日本セーリング連盟広報委員会 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1  
電話 03-3481-2357 ファクス 03-3481-0414 E-MAIL head@jsaf.or.jp  
発行人/河野博文 編集人/柳澤康信 編集スタッフ/エディター・豊崎謙、フォトグラファー・濱谷幸江、デザイナー・加瀬倫有  
定価/300円(JSAF会員は会費に購読料が含まれています)  
www.jsaf.or.jp

※「お詫びと訂正」J-SAILING102号P22の奥付に誤記がございました。誤:「420とレーザーラジアルの総体・国体への採用が決まりました。」→正:「420とレーザーラジアルの国体への採用が決まりました。」関係者にはご迷惑をおかけしましたこと、謹んでお詫びし、訂正いたします。(J-SAILING編集部)



45rpm studio co., ltd.



JAPAN AIRLINES



新しい翼で、世界の空へ。

昭和42年12月25日第三種郵便物認可 平成25年10月25日発行 通巻457号

J-SAILING

JAPAN SAILING FEDERATION

定価300円

NO.103



明日の空へ、日本の翼